

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2020-22295 (P2020-22295A)

【公開日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-005

【出願番号】特願 2018-145699 (P2018-145699)

【国際特許分類】

H 0 2 J 7/04 (2006.01)

H 0 2 J 7/10 (2006.01)

B 6 0 R 16/033 (2006.01)

B 6 0 R 16/03 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/04 L

H 0 2 J 7/10 L

B 6 0 R 16/033 C

B 6 0 R 16/03 S

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 25 日 (2020.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

< 実施例 3 >

次に実施例 3 の 車載用電源システム 3 0 0 について説明する。

実施例 3 の車載用電源システム 3 0 0 では、バックアップ電源制御装置 1 が蓄電部 7 の温度ではなく第 3 導電路 2 3 (ワイヤーハーネス 2 3 B) の温度に基づき目標電圧を決定する点で実施例 1 と異なり、それ以外は実施例 1 と同様である。実施例 3 の車載用電源システム 3 0 0 は、温度検出部 9 が第 3 導電路 2 3 (ワイヤーハーネス 2 3 B) の温度を検出する点、及び制御部 5 の温度取得部 5 A が外部 E C U 3 9 5 を介して温度検出部 9 の検出した温度を取得する点を除いて、実施例 1 の車載用電源システム 1 0 0 と同様である。車載用電源システム 3 0 0 において実施例 1 の車載用電源システム 1 0 0 と同様の部分は、この車載用電源システム 1 0 0 と同一の符号を付し詳細な説明を省略する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 1】

なお、「低温 (閾値温度範囲未満の温度範囲)」が第 1 温度範囲内の一例に相当し、「低温でない温度範囲 (閾値温度範囲以上の温度範囲)」が第 1 温度範囲よりも高い第 2 温度範囲内 (より具体的には、第 1 温度範囲の上限温度よりも下限温度が高い所定の第 2 温度範囲内) の一例に相当する。また、第 3 導電路 2 3 の温度が低温であると判定した場合に決定される目標電圧 (9 V) が、第 1 目標電圧の一例に相当し、第 3 導電路 2 3 の温度が低温でないと判定した場合に決定される目標電圧 (10 V) が、第 1 目標電圧よりも大きい第 2 目標電圧の一例に相当する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

< 実施例 5 >

次に実施例 5 の車載用電源システム 500 について説明する。

実施例 5 の車載用電源システム 500 では、車載用のバックアップ電源制御装置 501 が実施例 1 のバックアップ電源制御装置 1 の充電部 3A 及び放電部 3B に代えて充放電部 503B を備える点、及び車載用電源部 91 から負荷 93 へ電力を供給する導電路 520 に充放電部 503B が電氣的に接続されている点で実施例 1 と異なり、他の構成は実施例 1 と同様である。車載用電源システム 500 において 実施例 1 の車載用電源システム 100 と同様の部分は、この車載用電源システム 100 と同一の符号を付し詳細な説明を省略する。なお、実施例 5 の車載用電源システム 500 におけるハードウェアの構成は、実施例 1 の構成だけでなく、実施例 2～4 の構成に適用することもできる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

充放電部 503B は、電圧変換部の一例に相当し、例えば昇降圧型 DCDC コンバータ等の公知の充放電回路として構成されている。充放電部 503B は、車載用電源部 91 からの電力に基づいて蓄電部 7 を充電する充電動作と、蓄電部 7 の充電を停止させる充電停止動作とを行い得る。また、充放電部 503B は、車載用電源部 91 からの電力に基づいて蓄電部 7 を放電させる放電動作と、蓄電部 7 の放電を停止させる放電停止動作とを行い得る。充放電部 503B による充電動作及び放電動作は制御部 5 によって制御される。